

組織現勢(2月1日現在)
 組合員数 24,231世帯
 出資口数 83,583口
 12・1月の新規加入 60世帯
 12・1月の増資口数 1,891口

R100 古紙配合率100%再生紙
 を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
 TEL(3762)0266
 振込銀行 さわか信用金庫大森支店
 口座(普)0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

各支部で、新春のつどいが行われました 今年も元気に楽しく過ごしましょう

西品川支部

1月19日 毎年恒例の西品川新春のつどい。約60人の参加でした。手品あり、品川音頭あり、職



ずんどこ節替え歌踊り

員の出し物の「ずんどこ節の替え歌踊り」はたいへんな盛り上がりでした。職員と地域のみなさんで協力してつくった「手づくり料理」も大好評でした。



手品もありました



みんなで品川音頭を踊りました

うのき支部

1月26日 うのき新春のつどいが行われました。38人の参加で、楽しい一時となりました。



後期高齢者医療制度を皮肉った寸劇



すてきだったフラダンス



最後は全員でうのき音頭

大森糀谷支部

1月30日 前の浦集会所をお借りして行われた新春のつどいには35人が参加。小関理事長の挨拶、歌、民謡、マジックと盛りだくさんでした。大森糀谷支部は「班」が増え



わかがえり班の体操

ています。写真は「わかがえり班」で行っている体操と、後期高齢者の学習会の様子です。みなさんの参加をお待ちしています。
 *わかがえり班は第1、第3月曜の19時、東糀谷ゆうゆうクラブで行っています。



大田病院の井口事務長も挨拶しました



わかがえり班で後期高齢者の学習会

腹八分

「いま世の中が急激に崩壊に向かっていく。こんな警告がほらうぼから発せられています。タバコを製造・販売していた公社が、民間になって輸入食品を扱う小会社を立ち上げ、そうして大量に輸入される中国産冷凍食品の中から危険な農薬の混入が発見され大問題になっています。しかし政府の対応は、食の安全を確かめることよりも「誰が農薬を混入させたか」の犯人捜しに熱心です。ある地方には、食は4里四方から求めよ、こんな言葉があることを先日知りました。食の安全と共に自給の大切さを教えてください。環境の保全もこの言葉から読みとれます。中国産冷凍食品農薬混入問題は、食料自給率が40%に満たないこと、検疫の体制が確保されず、輸入食品の90%が検疫を経ないで流通していることを国民に明らかにしました。しかしその改善を求めることよりも、中国は1党独裁の国だから、こんなすり替えの議論のほうが盛んです。なぜ食の基本がこんなふうになってしまったのか。そこには歴代の政府がとり続けてきた日本農業の切り捨て政策が横たわっています。現在米価収入が時給256円という驚くべき実体が見えなくなりました。城南の工業製造業を襲う、中国、東南アジア並みの単価の下落が、農業にも及んでいます。そしてその背後には「構造改革」の名による規制緩和を求める大資本の影が見えます。食は4里四方には生産者と消費者の信頼関係も築かれます。世の中が崩壊に向かおうとしているいま、大資本の横暴の規制が必要です。